

環境省の特定外来生物防除事業の概要

	実施主体	事業内容	17年度実施内容	
直轄防除事業	ジャワマングース			
	奄美大島 (希少種の生息地)	那覇事務所	・17年度から10年間で奄美大島における完全排除を実現。	・マングース・バスターズ(12名の防除チーム)を編成し、合計2,591頭のマングースを捕獲。
	やんばる (希少種の生息地)	那覇事務所	・17年度から10年間でやんばる地域からの完全排除を実現。	・沖縄島北部地域において沖縄県と協力し、合計838頭のマングースを捕獲。(県はH17～H18年度で侵入防止柵を設置)
	オオヒキガエル			
	西表島 (国立公園)	那覇事務所	・西表島への侵入を監視し、早期発見・早期駆除を実施。	・オオヒキガエル侵入防止のため港や止水域の定期的監視を実施。(H17年度発見個体ゼロ)
	オオクチバス等			
	伊豆沼・内沼 (国指定鳥獣保護区) (ラムサール湿地)	東北事務所	・既存の防除手法に係る知見のマニュアル化(教本・DVD)。 ・周辺水系からの排除に係る手法の検討。	・駆除マニュアルの作成。 ・周辺ため池の現況調査。 ・稚仔魚の駆除(グリーンワーカー)
	羽田沼 (生息地保護区)	関東事務所	・羽田沼における有効な排除手法を実地に検討。	・現況調査の実施。 ・検討会における防除手法の検討。
	片野鴨池 (国指定鳥獣保護区) (ラムサール湿地)	中部圏事務所	・鴨池及び下福田溜池における排除手法を実地に検討。	・現況調査の実施。 ・検討会における防除手法の検討。
	犬山市ため池 (希少種の生息地)	"	・中島池・下池とその上流域における排除手法を実地に検討。	・中島池の池干しの実施。 ・周辺ため池の現況調査。
	琵琶湖 (国立公園) (ラムサール湿地)	近畿事務所	・内湖における繁殖抑制手法の検討と、湖における防除推進のための資料収集を実施。	・現況調査の実施。 ・検討会における防除手法の検討。
	蘭牟田池 (生息地保護区) (ラムサール湿地)	九州事務所	・蘭牟田池における排除手法を実地に検討。	・実地における捕獲方法の検討。
	オオクチバス等			
	皇居外苑外来魚対策事業	皇居外苑	・皇居外苑のお濠における排除手法を実地に検討。	・網、電気ショックカーによる捕獲の実施。
	小笠原(グリーンアノール、オオヒキガエル等)			
小笠原諸島 (国立公園)	関東事務所	・外来生物の根絶を目標とした防除事業及びモニタリングを父島及び母島において集中的に実施。	・現況調査の実施。 ・防除手法の検討。	
アライグマ				
知床半島 (希少種の生息地)	釧路事務所	・シマフクロウの生息にとって脅威となるアライグマの排除を実施。	・生息調査及び捕獲(グリーンワーカー)	
広域分布生物防除モデル事業	アライグマ			
	北海道	北海道事務所	・野幌森林公園において、アライグマの通道の把握と排除手法を実地に検討。	・現況調査の実施。 ・防除手法の検討。
	関東	関東事務所	・広域に拡大するアライグマ個体群を抑制するための手法と関係自治体の連携体制を検討。	・既存情報の収集整理。 ・モデル地区の設定と防除手法の検討。
	長野	長野事務所	・分散初期段階にあるアライグマ個体群の拡大を抑制する手法を検討。	(18年度から実施)
	関西	近畿事務所	・広域に拡大するアライグマ個体群を抑制するための手法と関係自治体の連携体制を検討。	・既存情報の収集整理。 ・モデル地区の設定と防除手法の検討。
	タイワンザル(H17限り)			
	和歌山	近畿事務所	・紀伊半島におけるタイワンザルの排除手法を検討	・紀伊半島におけるタイワンザルの排除手法を検討
	カミツキガメ			
	千葉県印旛沼	関東事務所	・印旛沼に流入する河川水系において排除手法を実地に検討。	・現況調査の実施。 ・実地における防除手法の検討。
	アルゼンチンアリ			
広島・山口	中国四国事務所	・アルゼンチンアリの生態・被害知見の整理。 ・効果的な排除手法を実地に検討。	(18年度から実施)	